令和８年第１２回大川市教育委員会（定例会）会議録

令和８年８月２４日、大川市役所大会議室において、令和８年第１２回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

１．開会及び閉会に関する事項

開会　　１３時３０分
閉会　　１３時５０分

２．出席委員の氏名

教 育 長	横大路　智毅
教育長職務代理者	谷川　朋昭
委　　員	今村　秀一
委　　員	木下　明子
委　　員	大内田　友美

３．欠席委員

なし

４．事務局等の出席者

学校教育課長	緒方　範子
学校教育課主幹指導主事	石橋　佳明
生涯学習課長	永島　潤一
学校教育課課長補佐	中村　大輔
指導主事	下川　勝彦
指導主事	古賀　孝志
学校教育課学務係長	坂本　さとみ
生涯学習課参事	岡　美詠子
社会教育主事	松延　　聡
生涯学習課文化・社会・人権・同和教育係長	道井　真広
記録者・学校教育課総務係	相浦　一也

５．傍聴者

なし

６．付議案件

審議事項

（１）議案第３７号　臨時代理の承認について（大川市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部を改正する要綱の制定について）

（２）議案第３８号　臨時代理の承認について（大川市地域学校協働活動推進員の委嘱について）

報告事項

（１） 会計年度任用職員等の任用について

７．教育長の要旨

（１）熊本地震等の災害について

前回の定例会時でも触れたが、７月の令和８年熊本地震、それから今月千葉での豪雨が発生した。本当に被災されました方々にお見舞い申し上げ、１日も早い復興を願うばかりある。

（２） 児童生徒及び教職員の健康への配慮について

学校は８月２５日から新しい生活がスタートするが、校長会でも、この生活リズムの変化の時期、それから様々な不安を抱えている子どもたちの心身の健康について、細やかな配慮、細やかな見届けをして、それを共有する、そういう組織作りをお願いしたところである。併せて子供たちだけではなくて、教職員の心身についての配慮もお願いしたところである。

また、このような厳しい、災害とも言えるような暑さの中であるので、何よりまして子供たちも教職員も、健康に対しては本当に細心の注意を払ってもらいたいと思っているところである。

（３）福岡県市町村教育委員会教育長研修会について

８月２０日、２１日に福岡県の教育長研修会が柳川市で開催された。その中で猿楽会長は、今、教育というのは大きな転換期を迎えていると。年内に新しい学習指導要領の更新もされる見通しで、これからは一つの自治体だけではなかなか解決が難しい、そういった課題も出てくる。やはりその現場の声を県政に届けるために、やはりこの自治体の壁を超えた連携とか、知の部分の共有、これが求められるということを言われた。

この南筑後管内に限らず、他の教育委員会とも連携しながら、大川市の子供たち、大川市の教育にとって、最善の施策を出していきたいと思っているので、また今後もよろしくお願いする。

８．議事の大要

審議事項	**（１）議案第３７号　臨時代理の承認について（大川市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部を改正する要綱の制定について）**
質問・意見等なし	
≪採決≫　全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	**（２）議案第３８号　臨時代理の承認について（大川市地域学校協働活動推進員の委嘱について）**
委　員	地域学校協働活動推進員の役割はざっくりとはわかるが、実際具体的にどういう取組みがされているかをお尋ねしたい。
事務局	各学校において推進員が中心となって、宮前小学校の ＭＳＣ のような活動をしているとイメージしてもらうと一番分かりやすいと思う。ただし、今回委嘱する委員については、その地域学校協働活動の中で不登校対策のコーディネーターを重点的にやっていただこうということで考えている。
≪採決≫　全員挙手により原案のとおり承認	
報告事項	**（１）会計年度任用職員等の任用について**
質問・意見等なし	

その他	**９月の行事予定**
	委員より、市立図書館で開催される「防災関連スリッパ作り」の参加対象者についてと文化センターで実施している「市民学習講座」の中途参加の可否について質問がなされた。